

# 新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。  
皆様におかれましては、新春を健やかに  
お迎えのことと心からお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスをはじめとした感  
染症の拡大は、私たちの生活や経済社会  
に大きな打撃を与えることとなり、本町  
におきましても様々な感染症対策や経済  
対策を行いながら、安定的な町政の運営  
に努めてまいりました。

そのような中、新型コロナウイルス感  
染症が感染症法上5類感染症へ移行し  
たことに伴い、徐々にではありますが、人  
と人が顔を合わせ集う姿が見えるようにな  
りました。

特に、「九重ふるさと祭り」をはじめ、  
様々なイベントが開催でき、たくさんの方  
々の姿や笑顔に触れ、改めて、人と人  
が集い、笑顔で交流できることの素晴ら  
しさを痛感しております。

さて、令和6年は、九重町の将来に向  
けて大きな転換点であり、飛躍の年であ  
ると捉えています。

「旧野上中学校跡地の有効活用」をは  
じめ、「東飯田地区での定住団地の造  
成」、「九重版地域づくり法人(DMO)の  
推進」、「デステイネーションキャンペー  
ン」や「新たなD&S列車特急かんぱち」  
の運行」などがあり、「ふるさと祭り30周  
年」、「やまなみハイウェイ開通60周年」  
などの多くの節目の年も迎えます。

また、町制施行日である2月1日を  
「町民の日」として制定し、皆様と町を愛  
する心の共有や町への郷土愛の醸成のき  
っかけになればと考えています。

大規模な自然災害も、各地で毎年のよ  
うに頻発しています。まずは、災害からの  
復旧復興に全力で取り組むとともに、今  
後の自然災害の発生にも備え、「安心・安  
全な暮らしを守るまちづくり」に取り組  
んでまいります。

子育てに関しては、全ての妊産婦・子育  
て世帯・子どもの包括的な相談支援等を行  
う「子ども家庭センター」の設置を行  
います。

農業においては、担い手の確保・育成、



農業収益の向上のため、地域ブランド化  
の推進など高付加価値を持たせる必要が  
あり、ファーマーズスクールに代表され  
る後継者、担い手の育成事業を活用しな  
がら、農業振興に取り組んでまいります。

私は、まちづくりの原点は常に人であ  
ると強く感じています。皆さまがあつてこ  
そ、大きな力となります。町を活性化さ  
せ、九重町にとって大きな飛躍の年とな  
るよう、持続可能な町づくりに向け全力  
で取り組んでまいりますので、ご支援・ご  
協力をよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様方にとりまして、輝かしい一  
年となりますようご祈念申し上げます、  
新年のごあいさつとさせていただきます。

九重町長 日野 康志

# 2月1日を「九重町町民の日」に制定しました！

## ●九重町町民の日とは

九重町では、町民の皆さんと改めて“町を愛する心を共有”し、“ふるさと九重町への郷土愛の醸成”をはかる契機として「九重町町民の日」を制定しました。

## ●どうして2月1日？

九重町は、昭和30年2月1日に町制が施行されました。この2月1日を「九重町町民の日」としました。

## ●何をするの？

町民の日は、「町を愛する心の共有」と「ふるさと九重町への郷土愛の醸成」が目的であり、大々的なイベントを行う日ではありません。

ただし、目的達成のために考えるきっかけづくりが行えるよう、今後皆さんと一緒に考えていきます。

- 現在予定されている
- ①九重町に功労のあった方への表彰式  
2月1日(木)午後3時15分～
  - ②町づくりを考える講演会  
2月1日(木)午後4時～

九重町では「九重町町民憲章（昭和58年12月制定）を定めています。  
町民憲章は町民自らが策定したみんなの誓いであり、その理想は今日でも私たちの願いです。



## 九重町民憲章

- 1. 誇れる歴史と文化を伸ばし育てよう
- 1. 恵まれた自然を愛し守り続けよう
- 1. あたたかい心でふれあいを大切にしよう
- 1. 豊かな資源を生かし伸びゆく町にしよう
- 1. 健康で住みたく町にしよう